

児童虐待防止対策と子育て支援対策の充実

予算額 2,751,710千円
 こども家庭室 224-2271
 こども未来室 224-2404

年々複雑・深刻化する児童虐待に適切に対応するため、関係機関、地域社会全体が連携して、未然防止、早期発見、早期対応、保護・自立の支援に至るまで、途切れない総合的な取組を行います。

また、子育て家庭が仕事と子育てを両立できるよう、保育所整備、放課後児童対策等の取組を進めるとともに、一人ひとりの県民が、安心して子どもを生き育てられる環境整備をはかるため、妊婦健康診査、不妊相談・治療等の取組を充実させます。

児童虐待防止対策の充実

① (一部新) 児童相談所等 組織力強化事業

児童相談所の組織力強化を図るため、職務内容や経験に応じた研修体系を確立し、ケースワーカー等を指導、監督するスーパーバイザー養成等の各種研修を実施するとともに、児童虐待に対応する囑託員の増員等を図ります。

予算額 54,669千円

② (一部新) 市町相談体制 強化促進事業

地域における相談体制の一層の強化を図るため、市町の支援方策検討のための調査、研究事業を実施するとともに、職員研修の実施、全市町要保護児童対策地域協議会への外部アドバイザーの派遣等により、市町対応力の強化を支援します。

予算額 29,307千円

③ (一部新) 家族再生・児童 自立支援事業

児童の自立促進を図るため、施設入所中の被虐待児等に対する、家族再生プログラムの実施、学童期からの児童への学習支援、里親委託の推進等を行います。また、児童養護施設等への改築整備を支援します。

予算額 272,339千円

④ 児童一時保護 事業

中勢児童相談所一時保護所について、個室の整備や男女の居住エリアの分離など、一時保護中の子どもが安全で安心して過ごせる環境を整備するため、増改築工事を行います。

予算額 205,959千円

地域における児童虐待対応力の強化のために

⑤ (一部新) 周産期からの 虐待予防事業

虐待予防の視点を取り入れた乳児家庭全戸訪問指導者研修会の開催や、産後うつ病等リスクの高い妊産婦を対象に医師と連携した相談・支援に取り組みます。

予算額 2,730千円



⑥ 0歳児からの 保育母子保健連携 ・虐待予防事業

育児不安の解消や乳幼児期の虐待を予防するため、母子保健との連携による保育所での育児体験や一時保育を活用した相談援助・助言に取り組みます。

予算額 7,595千円



子育て支援対策の充実

保育基盤の整備

⑦ 安心こども基金 保育基盤整備事業

保育ニーズの増加に対応した保育所の新設・増設や、児童の安全確保のための耐震化整備について、市町の取組を支援します。

予算額 739,259千円

⑧ (一部新) 保育専門研修 人材確保事業

児童虐待、発達障がい等多様な課題に対応できる保育士を育成するため、専門性を高める研修体制の充実をはかるとともに、潜在保育士の現場復帰支援など保育人材の確保に取り組みます。

予算額 14,700千円

放課後児童対策の充実

⑨ (一部新) 放課後児童対策 事業費補助金

放課後児童クラブの未設置小学校区に対する施設整備を促進します。生活環境の改善のため、備品の充実、障がい児対応指導員の増員等を進めます。

予算額 674,519千円



母子保健対策の推進

⑩ 妊婦健康診査 臨時特例交付金

妊婦健康診査公費助成(14回)の検査項目に、HTLV-1抗体検査、クラミジア検査を加え、母胎や胎児の健康確保の充実をはかります。

予算額 396,274千円

⑪ 不妊相談・ 治療支援事業

特定不妊治療費の一部助成(上限15万円)について、国の拡充に合わせ、初年度の助成回数を年2回から3回に増やします。また、不妊専門相談センターの相談時間の延長等により相談体制の充実に取り組みます。

予算額 354,359千円